

平成30年度塩竈市水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

イ. 給水状況

本年度の年間総配水量は、大倉ダム水系の 6,413,631 m³及び仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水量 1,022,007 m³の合計 7,435,638 m³ (20,372 m³/日)で、前年度 7,532,085 m³ (20,636 m³/日)に比較して 96,447 m³ (264 m³/日) 1.28%減少しました。また、一日最大配水量は 23,083 m³ (8月1日)で、前年度 22,753 m³に比較して 330 m³ (1.45%)増加しました。

年間有収水量は、6,405,699 m³ (17,550 m³/日)で、前年度 6,486,718 m³ (17,772 m³/日)に比較して 81,019 m³ (222 m³/日) 1.25%減少しました。これは、一般用口径 20mm 及び 50mm、75mm 並びに船舶用、臨時用水で 9,236 m³増加した一方、その他の口径及び生産用水等で 90,255 m³減少したことによるものです。

年度末における使用栓数は 26,296 栓で、前年度 26,309 栓と比較して 13 栓減少し、有収率については、86.15%で、前年度 86.12%に比較して 0.03 ポイントの増となりました。

ロ. 建設改良の状況

○ 改良事業

主な改良工事として、梅の宮地内減圧弁修繕に伴う仕切弁挿入工事、大倉水系導水管 2号・3号隧道出入口フェンス設置工事及び梅の宮、清水沢地区の 3 路線で、口径 50~100mm、総延長 263.3mの配水管布設工事等を行いました。

○ 第6次配水管整備事業

本事業は、平成 20 年度から 30 年度までの 11 か年計画で、水道水のより一層の安定供給を図るとともに、送配水管の耐震性の向上、長寿命管の採用によるライフサイクルコスト軽減を目的に実施している事業です。本年度は、月見ヶ丘、新富町地区の舗装復旧工事及び権現堂地区の 1 路線で口径 300~400mm、延長 124.0mの配水管布設工事を行いました。

○ 老朽管更新事業

本事業は、国の生活基盤施設耐震化等交付金(水道管路耐震化等推進事業)を活用し、地震による断水被害及び平常時の漏水事故の減少を図るため、耐震構造を有する長寿命管に更新整備する事業です。本年度は、字石田、新富町、藤倉一丁目、小松崎地区の 4 路線で、口径 50~150mm、延長 1,211.0mの配水管布設替工事及び字石田、新富町地区の舗装復旧工事を行いました。

○ 災害復旧事業

本事業は、東日本大震災に係る水道施設等の災害復旧費(上水道施設)補助金の交付決定に基づき実施する事業です。本年度は、平成 29 年度繰越分として、藤倉一・二丁目、海岸通、桂島・野々島地区の 3 路線で、口径 50~300mm、延長 950.0mの配水管布設替工事を行いました。また平成 30 年度事業として、新浜町一・三丁目、藤倉二丁目地区の 2 路線で、口径 50~150mm、延長 432.9mの配水管布設替工事を行いました。なお、海岸通二番、藤倉一丁目、新浜町一・三丁目、海岸通、桂島地区の 6 路線、口径 50~250mm、延長 2,162.7mについては、翌年度へ繰越しました。

○ 排水処理施設及び電気計装類更新事業

電気計装類更新事業は、梅の宮浄水場及び配水池の電気計装の老朽化に伴い電気設備等を更新する4か年事業（平成30年度～令和3年度）で、本年度は工事請負契約を締結し、受変電設備及び計測機器の製作に着手しました。

ハ. 財政状況 * () 内は税込決算数値

本年度の収益的収入は、1,588,291,014円（1,707,379,779円）で、前年度の1,565,592,282円（1,683,572,849円）に比較して22,698,732円（1.4%）増収となりました。これは、主に水道加入金で6,605,000円及び固定資産売却益で2,003,500円減収しましたが、給水収益で22,481,853円、雑収益で5,287,126円及び引当金戻入益で2,463,926円増収したこと等によるものです。

本年度の収益的支出は、1,361,793,137円（1,460,382,639円）で、前年度の1,415,531,668円（1,491,659,142円）に比較して53,738,531円（3.8%）減少しました。これは、営業費用で12,253,804円増加しましたが、営業外費用で5,234,779円及び特別損失で60,757,556円減少したことによるものです。

これらの結果、本年度は226,497,877円の純利益を生じ、利益剰余金は1,651,449,102円となりました。

本年度の資本的収支は、総収入305,914,579円（うち仮受消費税113,280円）に対し、総支出830,493,801円（うち仮払消費税32,714,234円）となり、収入不足額524,579,222円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額32,600,954円、当年度分損益勘定留保資金349,931,261円、減債積立金142,047,007円で補てんしました。